

# 海の向こうから



さようなら岡ピー会長

我らが広島県 OB 会のアイドルであった岡平会長が広島を去られることになりました。長い間まとまりのないメンバーをまとめてくださりありがとうございました。

会長からのメッセージ(OB 会メールリンク105号にて回ったものです。)

広島県 OB 会の皆様、及び関係者の方々

こんにちは。ご無沙汰しています。OB 会会長の岡平です。

急な話ですが、このたび転職をすることを決意し、7 月中に家族で東京に引っ越すこととなりました。協力隊広島県 OB 会の会長も今年度で3 年目でしたが、任期を半ばに広島を離れることになり、残念です。広島ではたくさんの OB・OG の方々に会う機会があり、いろいろな国の話や現在の広島でのご活躍の話を聞くことができ、大変いい経験をさせていただきました。また、OB 会の皆さんと一緒にイベントに出展したり、帰国報告会をやったり、壮行会・お帰りなさい会で一緒に飲んだり、思い出は尽きません。一時期将来の見えぬ不安や仕事上での困難を抱えていたときに、OB のみんなと集まって楽しく話をするのが本当に心の慰めになるところがありました。本当に広島県 OB/OG はいい人たちが集まっているなあと、いつも思っていました。

8 月 1 日より東京勤務が始まりますが、これからも一広島県出身 OB として、広島県 OB 会には在籍するつもりです。大木事務局長の楽しいメールレター「広島県 OB 会便り」はこれからも楽しく拝見させていただく予定です。また、呉に両親の住む実家があるので、広島に帰ってきたときには是非皆さんにご連絡させていただきたいと思います。また一緒に楽しく飲んで、語って、踊りましょう。

これまで本当にお世話になりました。ありがとうございました。

青年海外協力隊広島県 OB 会 岡平考司(H11-2 ウズベキスタン:日本語教師)

## 今後のイベントのお知らせ

- ・ 8 月・・・帰国隊員お帰りなさい会 (合わせて国際理解教室スキルアップセミナーを開催予定)
- ・ 9 月・・・19 年度 2 次隊壮行会
- ・ 10 月・・・広島フードフェスティバル 2 0 0 7 年 (OB 会料理屋台を出します)

\* 今年も出します。前年に引き続いて人気メニューのエンパナーダやバングラカレーを予定しています。OB の方々ぜひ遊びに、手伝いにきてください。当日は毎年かなりのお客さんが来るので、手伝いが多ければ多いほうが助かります。

これらのイベントの日程が詳しく決まれば再度メールリンクにてご案内いたします。

広島に転入された OB、帰国したての OB、OB 会メールリンク登録まだの方はご一報ください。

OB 会 MIXI のページもできました。検索で「協力隊広島県 OB 会」にてごらんください。

## 「第1回広島スキルアップ講座の開催報告」

5月12日に市民交流プラザ4F会議室で行いました講座の報告です。

この勉強会は、今年からJICAが出前授業を協力隊経験の社会還元の目玉として力を入れていることを受け、講師の立場として派遣する隊員OBに必要な”他人に自分の経験を伝える技術”を身に付けてもらうことを目的として、広島県OB会として独自に企画するものです。今回の内容は、2月に岡山で行われた中国スキルアップセミナー（1泊2日）の二次教育を中心として進め、導入として使える紙一枚でできる簡単なものから、参加型教育を前提とした教材を使っているものなど、実践に使える数個のネタを参加者のみなさんと一緒に勉強しました。



大木OBによるワークショップ。JICA教材“ホンジュラスのホセ君”を使って楽しくやりました。

第2回以降、隊員の帰国時期に合わせて開催するように考えておりますので、みなさん奮ってご参加ください。

(大木OB エルサルバドル)

\*ワークショップではJOCAの開発した紙芝居形式の国際理解啓蒙教材を使います。帰国直後の隊員以外でも参加型国際理解ワークショップに興味のある方参加できます。お気軽にご参加ください。次回の案内はメールリンクにて流します。

## 開発教育、国際理解教育スキルアップの勧め“地球市民共育塾ひろしま”

JICA と連携して開発教育を行っている NGO で、二月に1回のスキルアップ勉強会と年に1回東広島中国国際センター JICA にて合宿セミナーをやっています。歴代の広島市推進員や協力隊 OB も多く参加しています。ODA 民間モニターの発表や、教師海外研修の発表もこの会でワークショップ形式で行われました。OB の方で、出前講座や職場などで協力隊経験を生かし話がしてみたいが、どうやって話せばいいか、どう生かせばいいか迷っている方、ぜひいらしてください。

(羽熊広太 OB グアテマラ11-3)

開発教育の考え方にに基づき、私たちの身の回りにある問題についての参加型の活動を取り入れたワークショップを通して、参加者が共にグローバルな視野や、ローカルな視点から考え合い、そして学びあう活動を行っています。広島を拠点に、県外・県内あわせて100人以上の会員が参加しています。各月での定例会や、連続講座等を行い、情報交換・スキルアップに努めています。以上ホームページより

[http://www.geocities.jp/kyoikujuku\\_hiroshima/gaiyou.html](http://www.geocities.jp/kyoikujuku_hiroshima/gaiyou.html)



隊員OB 日系OBによる共同出前講座模擬授業、教員の参加者も多く、アドバイスがもらえます



グループワーク、隊員OBやNGO、教員など多くの分野の参加者と意見を交わす

## 平和文化センターに新しい JICA 推進員がやってきた！

みなさん、こんにちは 3 代目広島市国際協力推進員として、今年 3 月に着任しました井 尚子(い なおこ)です。2004 年 12 月から 2006 年 12 月まで中米コスタリカで、観光業隊員として活動していました。推進員業務を通じて出会う方々から、刺激や感動を受け取っている今日この頃です。広島県 OV の方々との出会いも、そういった素敵な出会いの一つです。まだ慣れない業務にあたふたすることもあります。JICA と色々な人を結びつく架け橋になっていきたいなと思っていますのでどうぞ宜しくお願いいたします

\* 前任の磯村推進と同じように若くて元気で明るい女性です。OB 会の会議や行事にも積極的に参加してもらっています。今後の活躍に期待しています。着任してすぐに大きな仕事がやってきました。以下記事(編)

## 「花と緑の地球 ~ずっとこの地球で暮らしたい~」イベント開催 (JICA 中国主催)

4 月 28 日から 5 月 6 日まで、旧日本銀行広島支店にて「花と緑の地球」という環境をテーマにしたイベント企画展示を開催しました。会場では、地球環境に関する展示コーナーの他、世界の花の写真コーナー、民族衣装試着・楽器コーナー、世界のお茶試飲コーナー、原爆展紹介コーナーなどが設けられました

沢山の OV の方々がスタッフとして運営にご協力して下さった結果、延べ 5,887 人の方が足を運んでくださいました。忙しい日々の中、少し立ち止まって地球環境や世界について考えてみる。今回のイベントでそんな時間をすごしていただいたのなら幸いです。みなさま、ご協力ありがとうございました。(広島市国際協力推進員:井)

\* フラワーフェスティバル関連イベントということで“花”のテーマはすばらしかったですね。期間中多くの OB が手伝いなどで訪れました。JICA 地球広場などからの教材貸し出しなどもあり、かなり力を入れた展示になっていたと思います。開発教育手法を使った環境教育的な展示内内容がすばらしいと思いました。JICA も時代とニーズに答えていることを感じました(編)



異文化体験コーナーでは衣装を着たり、OB の太鼓の演奏にあわせて一緒に演奏したりする参加者も。



“世界の花”展示は地元新聞でもとりあげられ、その後も JICA 中国のロビーでも開催されました。



「原爆展を任地で開催した隊員さんがツルを持って広島に開催報告にいらっしゃいました」(7月19日新着情報)

一番左から推進員(井 尚子)

小林直樹さん(日系社会ボランティア 21 回生: アルゼンチン広島県出身)

白石素子さん(日系社会ボランティア 21 回生: パラグアイ大阪府出身)

久保真希子さん(日系社会ボランティア 21 回生: パラグアイ京都府出身)

原爆展に関する窓口は、広島市国際協力推進員になっていますので問合せはこちらまで♪(井)

広島市国際協力推進員 井 尚子(い なおこ)

Tel 082-242-8879 Fax 7452 E-mail: [jicadesk@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:jicadesk@pcf.city.hiroshima.jp)



\*届きたてホヤホヤの情報です。読売新聞にも記事になるようです。現在までに全世界31カ国で開催され大好評だったという報告が届いています。今年度もすでに7カ国で開催され、さらに8カ国で開催される予定です。パラグアイでは現在開催中だそうです。広島隊員が中心になって行ってきた原爆展が噂で他の地域出身の隊員にも広まってくれたことが嬉しいですね。ヒロシマの歴代推進員が続けてきた独自の隊員出発前事前平和学習の賜物ではないかと思ます。広島県 OB 会も隊員による原爆展に援助、協力しています(編)

### 中国ブロック大会~水の都でアフリカナイト~ のご報告

6月30日~7月1日にかけて今年も恒例の中国ブロック大会が開催されました。

今年は島根県での開催で広島県OB会から19名もの参加者がありました。

内容は、アフリカダンス・アフリカ太鼓・バームクーヘン作り・木工・残念ながら雨で中止になったカヌー体験など盛りたくさんで、とても楽しめました。ホスト役となった島根県OB会の皆様に感謝です。来年は、鳥取県開催です。大山で乳搾り又は、鳥取砂丘で地引網漁などの楽しそうな提案も上がっていました。来年もたくさんの方で行きましょう。今年は、本人は都合で不参加ながら、みんなが車に乗り合わせていけるよう調整してくれた大木事務局長も一緒に行けるといいですね。(JOCA 細川 OB)

\*前回の中部プロでは開発教育スキルアップがテーマでしたが、今回はアフリカの太鼓とダンス、異文化体験スキルアップがテーマでした。毎回中部プロに参加すると様々なスキルアップができるような気がします。何よりも各県の活発な活動報告を聞くと、広島も刺激されますね。(編)



アフリカナイト、夜に太鼓とダンスのパフォーマンスが、ほぼ全員今日がはじめてなのにそれなりにできあがりました。各県に持ち帰ってね



バームクーヘン作り、夜の懇親会のときに皆でいただきました。味はGOOD。野外施設だけあって、協力隊的な企画ができました。

## 青年海外協力協会からのお知らせ 地域実践者ネットワーク

登録のお願いすでに登録されている方も多いと思いますが、まだの方はぜひ登録をお願いします。JOCAのホームページから簡単に登録できるようになっています。[http://www.joca.or.jp/content/homecoming/member\\_form.php](http://www.joca.or.jp/content/homecoming/member_form.php)

地域実践者とは…地域に根ざしてあるいは国際社会において、社会還元活動を実践する帰国ボランティア。そんな人たちをJOCAは地域実践者と呼びます。そして、社会還元活動に必要な情報共有や相互アクセスが可能となるよう、国内外に住む実践者をネットワークで結びます。このネットワークを活用して、常に地球規模の問題意識を持ちながらボランティア事業を支える集団として、個々の経験を埋もれたままにすることなく多様な地域のニーズ、人材育成などに取り組むことを推進します。なお、ネットワークに参加するには地域実践者としての登録が必要です。

<登録者ができること>

**ネットワークが活用できる...**ボランティア経験を生かしたいけれど、その方法や機会がわからない、自分の活動を多くの仲間にも知らせたい、一緒に活動する仲間を募りたい等々。ネットワークを通して呼びかけができます。

**情報がもらえる&発信できる...**JOCAが実施する事業や全国の登録者の中から、これほと思うような活動や催し物の情報を提供します。

**応募促進支援への協力を...**ボランティア事業を支える帰国ボランティアの役目の一つとして、応募促進支援に協力していただきます(ポスター掲示、リーフレット配布等)。備考:ポスター、リーフレット等はJOCAから無料で提供(郵送)させていただきます。

広島県からいってらっしゃい 11名が海外に羽ばたかれました。

### 【青年海外協力隊 19年度1次隊】

鍵山彩/カンボジア/小学校教諭

松浦晴美/ソロモン/言語聴覚士

森下理奈/カンボジア/小学校教諭

佐藤瑞穂/ホンジュラス/小学校教諭

吉岡未紗/パキスタン/作業療法士

木下恵輔/ナミビア/理数科教師

林陽子/ポリビア/栄養士

鎌田典子/マラウイ/理数科教師

### 【日系社会青年ボランティア】

坪井智美/ドミニカ共和国/日系日本学校教師

### 【日系社会シニアボランティア】

満島裕直/パラグアイ/編集

仕切晴治/コロンビア/日本語教育

\*6月13日(水曜)に恒例のタイ料理店サワディー(タイOBの店)で行われた壮行会では平日に関わらず多くのOBが集まり、不安と希望がいっぱいの隊員を送り出しました。特にベテランの日系社会シニア隊員の方からは、JICA事務所に対する意見など貴重な意見をいただきました。年代を超えた交流ができるのがOB会のいいところの一つではないでしょうか。今後もシニアボランティア、日系隊員OBの参加をお待ちしております。



平日ということもあり、途中で帰る人もいて、最後の全体写真では全員が揃いませんでした。OBの話が長かったとの批判もあり、もうしわけありません。

## 編集部より



OB 会メールリンク会員に参加していますか？

前回会報でもお知らせいたしましたが、広島県OB会では、会員への情報連絡手段として、費用のかからない電子メールを主なものとして運営しております。

現在、広島県OB会の会員数は約350人ですが、このうち、まだメール登録をされていない方が、約半数おられます。

一斉メールでは、OB会のイベント情報のほか、講演会案内やJICA、JOCAなど関係団体からの情報も細かに発信しております。

ぜひ、この機会にメールアドレスの登録をおすすめします。

周りで広島に新たに転入してきた協力隊OB、海外より帰国してきたOBがいましたら「OB会メール届いてる？」と訪ねてみてください。

OB会代表メールまで [hiroshima\\_jocv\\_obkai@yahoo.co.jp](mailto:hiroshima_jocv_obkai@yahoo.co.jp) 登録するメールアドレスをお知らせください。

### 住所変更について

毎回OB会会報を送付する度に、十数通の封筒が住所変更等で返送されてきます。お引越などをされる際はぜひ、ご住所の変更もお知らせください(メール:上記OB会代表メール/お便り:封筒明記の会長住所まで)。

### 引き続き記事やニュースを募集します

事務局では、会報に掲載する記事を募集しています。

- ・ 派遣中隊員からの活動紹介
  - ・ OB隊員のお店、NGO機関などの紹介
  - ・ 出版本の紹介
  - ・ 任国への再訪問された方からの旅行記
- などなど、なんでも結構です。

事務局までお寄せください [hiroshima\\_jocv\\_obkai@yahoo.co.jp](mailto:hiroshima_jocv_obkai@yahoo.co.jp)



## 編集後記

長い梅雨が明けて、広島にも夏がやってきました。私の周りのNGOの人達も今年の“8月6日”に向けてあわただしくなってきました。昨日から「夕凧の街、桜の国」の広島先行上映が始まりました。原作はこの史代の漫画(双葉社)で、手塚オサム文化新人賞を獲るなど話題を呼び、ようやく映画化が実現しました。上映の前に市民NGOの協力の元、平和公園北の河川敷でスクリーンを置いて前代未聞の試写会をやったもの話題になりました。もう一つ被爆者の証言と映像のドキュメンタリー「ヒロシマ、ナガサキ スティーブン岡崎監督」は8月5日フェニックスホールで行われます。また8月6日から全米のケーブルテレビで放映されます。試写会で監督と話をしたのですが、非常に温厚な方で日系人である独自の視点からヒロシマを語られました。今年のヒロシマは熱いぞ！

熱いといえば、参議院選挙が今熱い！相次ぐ閣僚の失言や低い首相の支持率。年金問題、少子化問題、格差社会など日本は問題が山積みで、有権者の選挙に対する注目は高まっています。今回新しく始まった地域実践者ネットワークで必要とされる地域還元活動をこつこつとやっている帰国隊員のネットワーク作り。協力隊で前講座も含め、こういう不透明な時代であるからこそ、異文化の中で確かなものを見てきた隊員OBの活躍が世の中に求められているのではないのでしょうか。(編集担当 羽熊広太OB グアテマラ11-3)

